

大分教育事務所訪問

いよいよスタート。それぞれの学校の価値を発見して伝えていきましょう！

臼杵市立北中学校から学ぶ

個々の「生徒の困り」を解消することを中心に学校経営を行っている北中学校は、帰りの会で友達の良さをほめ合ったり、計画的に人間関係作りプログラムを行っています。さらに、支援が必要な生徒に対しては、レベル、主訴、配慮や支援の内容を簡潔に示した「共通理解シート」で組織的な支援が行えるような工夫がされていました。(好事例です!) また、生徒会も「先生と仲良くなる」ような取組を行うなど、生徒自身が当事者意識をもち安全、安心な学校づくりを行うようにしています。このような、日常的な実践のおかげで、多くの教室で生徒が生き生きと学ぶ姿を見ることができ、参観した私もうれしくなりました。



NO.31 2021年6月 臼杵市立北中学校

拍手と笑顔

拍手と笑顔があふれる安心できる学級だから、思いきってできる。

学校経営から学ぶ

学校の教育目標「『わかる』『つたえる』『つながる』北中生の育成」を達成するために、生徒に「学びへの意欲」「自己表現力」「共感的人間関係」の資質・能力をつける実践を行っています。このようなわかりやすい教育目標を設定することで、いろいろな年齢層や経験の違いがある教職員や保護者、地域のベクトルを揃えやすくしています。

今後は、日々の授業や行事において、この3点を常に意識する(生徒に意識させる)ことで、「わかる」「つたえる」「つながる」の具体的な姿(ゴールイメージ)が次第に明確になると思います。そのためには、日常の授業の「ふりかえり」において、具体的な生徒の姿(生徒にどのような内容を書いてほしいか。生徒がどうあってほしいか等)を明確にすることから初めてはいかがでしょうか。



NO.32 2021年6月 臼杵市立北中学校

確認できるから

短時間でも、自分の考えを伝え合う時間があると安心する。新たな発見もある。

授業から学ぶ

先生方も生徒達も相手を認め合うことを大切にしているので、自然に学び合うような場面を多く見ることができました。

特に2年生の体育では、最後のペアが終わるまで応援する姿があり、また前に出た生徒に対して全員が拍手をしていました。

多くの授業で、個人→ペア(班)→全体という流れが見られましたが、個人で考えることができない(課題が十分理解できていない)生徒もいるので、1年生理科のように個人→ペア→個人→ペアと複数回行うことでより個人での考えが深まると思いました。



NO.34 2021年6月 臼杵市立北中学校

顔を上げると

自信が持てると顔が上がる。だから、顔を上げることを習慣化すると、自信が持てるようになる。



NO.33 2021年6月 臼杵市立北中学校

4人いるから

自分と同じ考えの人も、違う考えの人も、自分は全く思いつかない考えを持つ人もいる。だから、授業が楽しい。